



1. KEIO TECHNO-MALL 2025に、KGRI、CRIK信濃町、YIL、連携大学OISTも出展！

「実学」の原点—多彩な時代への架け橋”をテーマとしたKEIO TECHNO-MALL 2025に、昨年度に引き続き、CRIK信濃町・YILが出展したほか、KGRIから「課題ワンストップ受入解決ユニット（I&Aユニット）」、連携大学OIST Innovationも参加し、研究者や企業と交流を深めました。（12月）

2. OIST-Keio Showcase Talk vol.8 “Science Meets Society: Twist, Flow, and Instability”開催

理工学研究科「流体力学研究創発センター」とOISTユニット「海洋物理・工学」「力学と材料科学」「液滴とソフトマター」の研究者によるトークセッションが開催され、活発な議論が展開されました。若手研究者や学生によるポスターセッションも実施され、研究者や学生の交流を深めました。（12月）

3. KGRI「『学知温泉』Hidden Jewels Session - Special Edition Vol.2」開催

慶應卒タレントのふかわりょう氏を迎え、「テクノロジーと価値創出を多様なアプローチから考える」というテーマのもと、音楽、解析、法学、言語学、多様な領域の研究者と表現者が、人間と社会をより良くする技術や価値について、人間の幸福や尊厳を守るために倫理的視座や責任について語り合いました。（11月）

4. KGRI I&Aユニット「新規事業デザイン」・「多様な家族像」をテーマに産学連携イベントを開催

KGRI I&Aユニットは外部アカデミックインキュベータを活用し、人文学・社会科学系の産学連携に向け、2つのプロジェクト「新規事業×システムデザイン」（経済学部 武山教授）、「2050年の家族像」（文学部 阪井准教授）を立ち上げ、企業向けイベントを開催、交流を行いました。（12月）

5. イノベーション推進本部が、文部科学大臣と面会

斎木敏治常任理事（イノベ本部統括本部長）、山岸広太郎副理事（イノベ本部統括副本部長）、新堂信昭特任教授（イノベ本部長）らが、松本洋平文部科学大臣と面会し、J-PEAKS事業やAMED事業を支援いただいている感謝を伝え、今後のイノベーション創出の取組を紹介しました。（12月）